

## がん検診を受けましょう！

がんは昭和56年より我が国の死因の第1位で、本町でも同様の状況です。がんは早期発見・早期治療が重要であることから、『がん検診の受診』が勧められています。しかし、本町での各がん検診の受診率は、令和4年度において目標に達していません。近年はとくにコロナウイルス感染症の影響が受診率にも出ています。(表)

10月は、「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」と定められており、国全体で取り組みを行っています。この機会にがん検診に関心を持ち、自分の体の状態を知りましょう。集団検診、個別（医療機関）検診いずれかの方法で受けることができますので、受診券に同封の案内を参考にぜひ受けましょう。

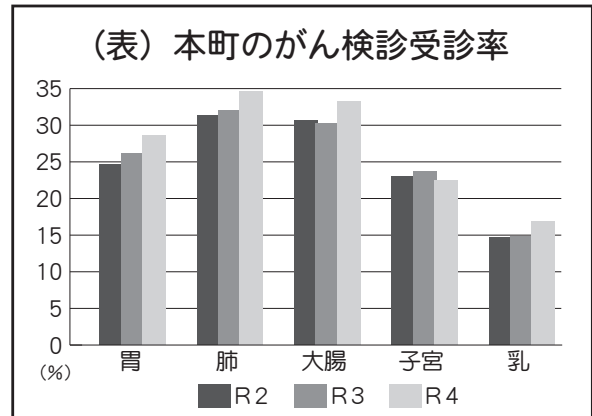
### 10月の集団健診の日程

〔日 時〕 10月23日（月） 午前8時30分～10時30分受付

〔場 所〕 総合センター

〔内 容〕 特定健診、後期高齢者健診、胃がん（バリウム）・大腸がん、  
子宮頸部がん、乳がん検診、肝炎ウイルス検査

〔持ち物〕 各受診券、健康保険証、（お持ちであれば）お薬手帳



感染対策のため、特定・後期高齢者健診、胃・子宮・乳がん検診は事前に予約が必要です。定員がありますので問合せください。

## 10月は「ピンクリボン月間（乳がん月間）」です

### 知っていますか？乳がんのこと

日本では、約11人に1人の女性が乳がんになっています。乳がんって何なのかよく分からない、乳がんとわかるのが怖い、仕事や育児などが忙しい、検診に行くのが面倒、など…いろいろな理由があり、今までは乳がんについてあまり興味がなかった人も多いと思います。10月は、ピンクリボン月間です。この機会に、乳がんについて考えてみませんか？

### 乳がんって何？

乳がんは、乳腺組織（母乳を作るところ）にできる悪性腫瘍で、発生や増殖には「エストロゲン」と呼ばれる女性ホルモンが関わります。罹患率（病気になる人の割合）は30代から上昇し始め、40代で急増しています。

がんが小さい状態で発見されれば、手術になったとしても切除の範囲がわずかで済むので乳房の温存が可能になり、完治も期待できます。がんが進行するほど、治療は難しくなり、身体への負担だけでなく、時間やお金の負担も大きくなります。

乳がんは、自己検診で早期発見することができるがんです。乳がん検診と組み合わせると、より発見しやすくなります。また、継続して検診でチェックすることも大切です。忘れずに検診を受けましょう。

問合せ先 保健センター福祉課 ☎ 75-4101